

農地の基盤整備事業について

1. 農地の基盤整備事業とは？

農地の基盤整備事業とは、水田や畑地を区画整理し、農道、排水路、畑地かんがい施設の整備などを総合的に行う事業です。

2. 事業を実施するとどうなるの？

区画整理では、田畑が大きくなり作業が効率的になるほか、大型機械の導入が可能になり、農業の生産性が向上します。また、道路や排水路も整備され、運搬や水路の管理も楽になります。

区画整理前



道路、排水路も小さく、小型機械での作業であり、大変な労力を要する。

区画整理後



道路排水路が大きくなり、区画も拡大することから、大型機械の導入が可能になり、作業が楽になり生産コストも安くなる。自由な時間も増え、跡継ぎの育成環境も整う。

畑地かんがい施設整備前



ポリタンクに水をくんで畑まで運搬し、散水することから作業手間が大きい。

畑地かんがい施設整備後



畑に備え付けられた蛇口をひねればいつでも水が出るので、短時間で均一に散水ができる。

(畑総事業の例)

三会原第2地区（島原市）



整備前



整備後



【地区概要】

- 総事業費： 867百万円
- 工期： H20～H25
- 受益面積： A=71.7ha
- 受益戸数： 216戸
- 工事内容
 - 区画整理 29.8ha
 - 畑かん 34.4ha

整備後の営農状況



(大根播種状況)



(白菜生育状況)



(生姜灌水状況)